

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
国語	国語総合（古典分野）	普通科・1年生	5（古典3）
教科書 副教材等	[主たる教材] 改訂版国語総合古典編（数研出版） [副教材] 「key&Point古文単語330三訂版」（いっずな書店）「新精選古典文法改訂版」（東京書籍） 「漢文必携四訂版」（桐原書店）「漢文必携チェックノート基本編四訂版」（桐原書店）「基本の古典」（尚文出版）		

1 学習目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 知識、技能の習得に向けて
問題演習を通じて、生徒一人一人の進路目標に対応した知識、技能を定着させる
- ② 思考力、判断力、表現力の育成に向けて
多くの古典作品に親しみ、知識を活用した思考力を育成する
- ③ 学びに向かう力の涵養に向けて
現代語と古語や漢文との関連性を理解させ、古典について関心を持たせる

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	古文 説話	「宇治拾遺物語」 絵仏師良秀	・古典に親しみを持てるよう、音読を大切に し、話のおもしろさを理解させる ・文法事項を習得させる（品詞・用言）	1 3	授業の取組 暗唱・小テスト グループ学習
5	漢文 入門一 古文 随筆	入門一（訓読の基礎） 「徒然草」 つれづれなるままに ある人、弓射ることを習ふに	・訓読の基礎を習得させる ・随筆の各章段の理解を深める方法を学ば せ、人間・生き方に対する作者の思想や感 情を読み取らせる	1 6	定期考査
	漢文 入門二	入門二（再読文字）	・訓読の応用を習得させる		定期考査
7	漢文 史伝 古文 歌物語	「十八史略」管鮑之交 「伊勢物語」筒井筒	・歌物語の世界とその特徴を理解させる	2 2	
9	古文 日記	「土佐日記」門出 忘れ貝	・文法事項を習得させる（品詞・活用語） ・日記文学の特徴と作者の人間観を理解さ せる		定期考査
10	漢文 唐詩・ 思想	絶句と律詩 「論語」	・今体詩を理解し、唐詩の世界を鑑賞する ・儒家の思想を理解する	2 1	
11	古文 随筆	「枕草子」 雪のいと高う降りたるを	・文法事項を習得させる（活用語・敬語） ・平安朝の宮廷世界や女流文学について理 解を深める		定期考査
12	古文	「平家物語」祇園精舎 木曾の最期	・軍記物語を通して、登場人物の会話や行動 から人物の内面を読み取らせる	2 4	
1 3	漢文 文章	雑説	・文章の論理構成と比喻表現を押さえ、筆者 の主張を読み取らせる		定期考査

計 9 6 時間 (55 分授業)

4 課題・提出物等

・週一度の朝学習課題と週末の自宅学習課題に取り組み、週の始めに課題を提出し点検を受けます。

- ・毎週一度、授業時間内で小テストを行い、授業内容の基礎基本事項の徹底と復習を図ります。
- ・各單元ごとにグループ活動の時間を設定しています。
- ・長期休業中の課題と休み明けの課題テストについては別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)			(知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、課題テスト、授業内の小テスト ・課題提出、ノート提出 ・平常授業での取り組み（授業態度、予習復習の定着度、グループ活動への意欲） などから総合的に評価します				

6 担当者からの一言

- ・古典の基本は音読です。暗唱するまで繰り返し声に出して本文を音読しましょう。
- ・必ず予習をして授業に臨み、授業時間内で集中して内容を理解し、ノートに記録したことを復習で確認しましょう。
- ・小テストや課題は進級に不可欠な取り組みとなるので、毎週確実に取り組み、提出しましょう。

国語科：石田